

【別紙2】平成30年 お盆期間の高速道路における特に長い渋滞の回避例

《ケース1》

8月11日(土) 東京周辺 ⇒ 仙台方面の例

① 出発時間の変更により渋滞を回避

東北道ルートでは、浦和本線料金所を17時以降に通過することで、渋滞を回避することが期待されます。渋滞を回避することで、所要時間が最大で約2時間50分程度短くなると予測しています。

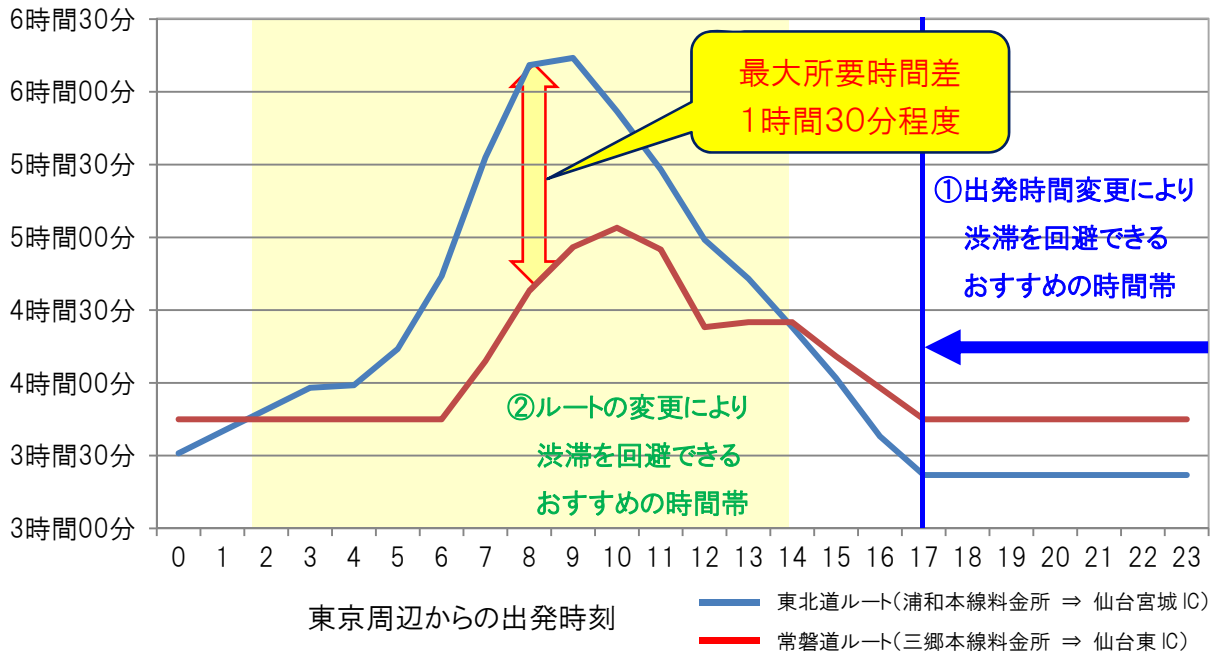
② ルートの変更により渋滞を回避

また、東京周辺から仙台方面へ向かう場合、通常時は東北道ルートの方が常磐道ルートよりも所要時間が短くなりますが、14時より前に東京周辺から出発する場合、常磐道ルートの方が東北道ルートよりも所要時間が最大で約1時間30分程度短くなると予測しています。



※関東方面にお住まいのご家族・ご友人にも  
ぜひお伝えください

平成30年8月11日(土)  
東京周辺 ⇒ 仙台方面 ルート別所要時間



《ケース2》

8月15日(水) 仙台周辺 ⇒ 東京方面の例

① 出発時間の変更により渋滞を回避

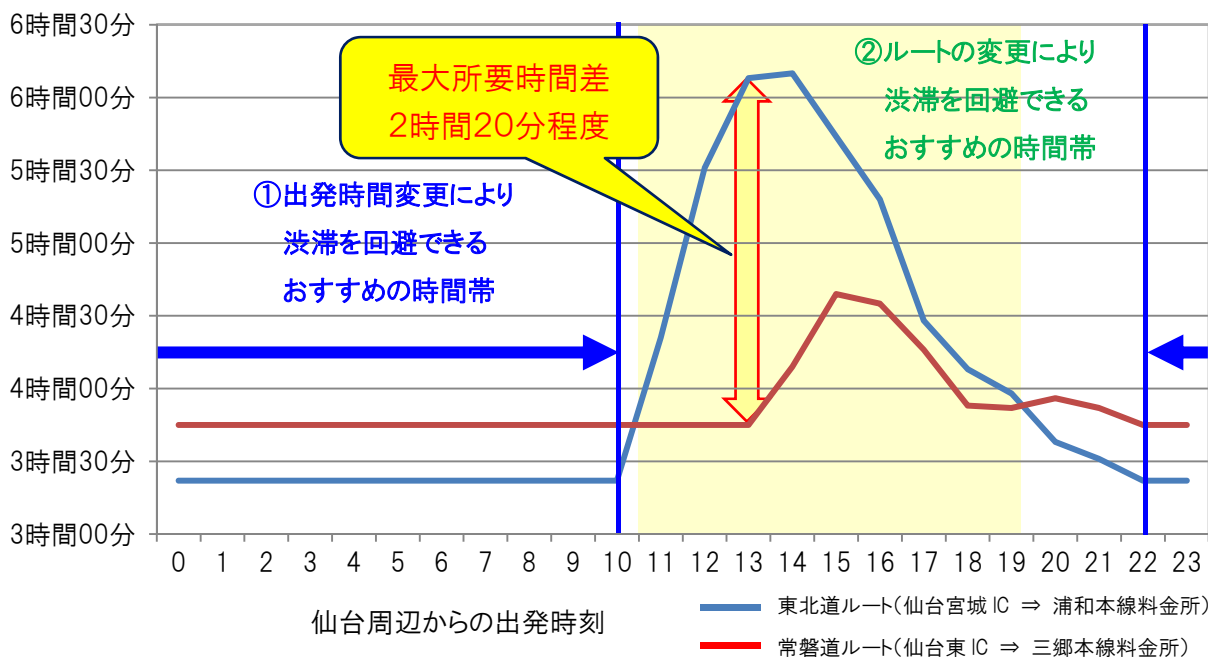
東北道ルートでは、仙台宮城ICを午前10時以前、もしくは22時以降に出発することで、渋滞を回避することが期待されます。渋滞を回避することで、所要時間が最大で約2時間50分程度短くなると予測しています。

② ルートの変更により渋滞を回避

また、仙台周辺から東京方面へ向かう場合、通常時は東北道ルートの方が常磐道ルートよりも所要時間が短くなりますが、午前11時頃から19時頃までに仙台周辺から出発する場合、常磐道ルートの方が東北道ルートよりも最大で約2時間20分程度短くなると予測しています。



平成30年8月15日(水)  
仙台周辺 ⇒ 東京方面 ルート別所要時間



※事故や天候の影響などによっても渋滞状況は大きく変わる可能性がありますので、お出かけ前に『ドラとら』などで最新の道路交通情報をご確認ください。